

世界に一つだけのキャンドルを作ろう

Takahara Candle 館脇侑希

●キャンドルとの出会いを教えてください
 高校生の頃からアロマキャンドルが好きで、アロマを焚いては小さく揺れる灯りやお気に入りの香りや癒され、心が落ち着くような気がしていました。キャンドル作りを学べる認定校があることを知り、仕事をしながらキャンドル教室に通いました。日本キャンドル協会より認定を受け、今年二月からキャンドルア



今、高原山の麓に小さなキャンドルが灯されました。この灯りを、どんどん大きくさせて、矢板市を活性化させる希望の灯りにしたいと活動しているキャンドルアーティストの館脇侑希さんを訪ねました。

ティストとして活動を始めました。
 ●キャンドル作りをはじめたきっかけは、二年前まで大田原市で保育士として働いていました。退職後も「子どもたちと何かを通じてつながっていたい」と思ったことがきっかけです。
 子どもたちの喜びそうなスイーツの形やカラフルなキャンドルのワークショップを用意して公民館やマルシェなどのイベントにも参加しています。シーズンに合わせたデコレーションも人気で、出来上がった時の喜びの表情に私もパワーをもらっています。

●今後の活動は
 公民館や育成会での活動など、子どもたちに楽しんでもらえる機会をもっと増やしていきたいらと考えています。他にも天然の香料を使用したキャンドル作りや出張ワークショップも行なっていますので、いろいろなお所に呼んで

ください。飾っても灯しても美しいキャンドルの魅力を、たくさんの人に伝えていきたいです。そして、私のこの活動が矢板市の活性化に少しでも役立てたらうれしいです。
 (記者の感想) もうすぐクリスマスですね。今年はオリジナルのキャンドルで、クリスマスを彩ってみようかな。(Y・S)

●問い合わせ
 Takahara Candle
 電話：〇五〇(五三七)八六六六



野球を通して人を育てる

石川学園 石川将之さん

●野球教室の内容
 子どもたちは野球を通して礼儀や生活態度を学び成長してもらいたいと考えています。例えば、三振やエラーをした場合も怒りませぬ。とにかく一生懸命練習することが大切だと常に伝えていきます。また「いじめられて



●将来の夢
 高校の野球部の監督となり甲子園に行くのが夢です。また、子どもと高齢者が一緒に空間で学べ、自然とともに過ごせるような施設を作りたいと思っています。

●野球教室を始めたきっかけ
 小学生・中学生の頃、中学校の当時の野球部監督の松先生が、野球指導してくれました。きっかけは自分を変えたい、高ができた。大学で野球部、その後、日本一になり、熱血先生の山、三年間



●野球教室の内容
 下で学んだことも今の自分には大きく影響し、野球教室・法人を立ち上げた。きっかけとなり、野球教室の内容は、子どもたちが野球を通して礼儀や生活態度を学び成長してもらいたいと考えています。例えば、三振やエラーをした場合も怒りませぬ。とにかく一生懸命練習することが大切だと常に伝えていきます。また「いじめられて

●野球教室
 毎週火曜 十八時～十九時
 ●問い合わせ
 電話：(四三)七五四四

●野球教室の内容
 下で学んだことも今の自分には大きく影響し、野球教室・法人を立ち上げた。きっかけとなり、野球教室の内容は、子どもたちが野球を通して礼儀や生活態度を学び成長してもらいたいと考えています。例えば、三振やエラーをした場合も怒りませぬ。とにかく一生懸命練習することが大切だと常に伝えていきます。また「いじめられて

